



IIXIL リシエント浴室中折ドア ガバー工法 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●内釜式の燃焼器具を使用する場合は、必ず別途に適切な換気設備を設置してください。酸欠や一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。(本製品の換気窓は自然換気だけの機能のため、換気能力が不足します。)

▲注意

●取付け完了後上下ヒンジが、浴室側から見て必ずレールにはめ込まれていることを確認してください。使用中にドアが脱落し、ケガをするおそれがあります。

●浴室側戸先ドアに取付けるブラケットは根元にすき間がなくなるまで框へ差込んで、把手をねじで固定してください。使用中に把手が外れ、ケガをするおそれがあります。

●上・縦枠用取付けねじは、コーキングワッシャー組込み式のため、そのまま外さないでねじ止めしてください。コーキングワッシャーを外すと漏水の原因となります。

●枠とドアのねじれ・水平・垂直を必ず調整してから固定してください。漏水の原因となります。


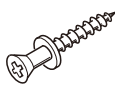

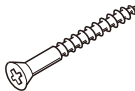

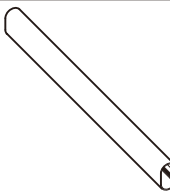

●ドアの枠回りを必ずコーキング材で処理してください。躯体へ浸水の原因となります。

●上ヒンジは必ず上枠レールにはめ込んでください。ドア脱落の原因となります。

■取付け上へのお願い

●本製品は住宅の浴室用出入口を目的としたもので、それ以外の用途には使用しないでください。

■取付けねじ・部品一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬
						
スクリュー釘 φ2.1×25	皿木ねじφ3.8×30 (コーキングワッシャー付)	皿木ねじ φ3.1×20	皿木ねじ φ3.8×38	ブラケット	把手	ナベタッピンねじ φ4×40

※スペーサーやかい物、取付けねじなどは別途現場にて手配してください。

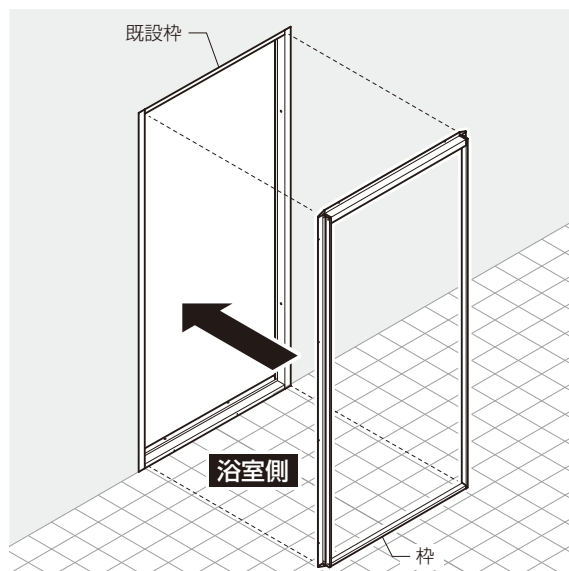
■取付け順序

1 既設枠の確認

- ①既設枠に取付いている部品やパッキンを取外してください。
- ②ねじ穴や部品取付け穴などはシーリングや防水テープでふさいでください。

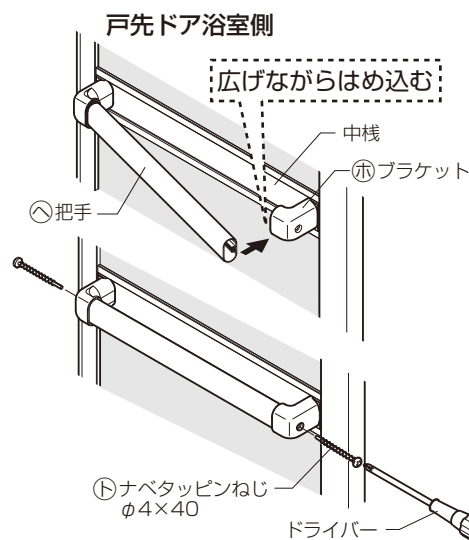
2 既設枠への取付け

- ①既設枠に障子を取外した枠を(ドアの取外し方参照)仮設置し、養生テープで仮止めしてください。(すき間があったり水平・垂直が正しくない場合はスペーサーなどで調整してください。)
- ②枠のねじ穴からけがきを入れてください。
- ③一度枠を外して既設枠に下穴をあけてください。
- ④既設枠にあけた下穴にシーリングをしてください。
- ⑤再度枠を設置し、枠のねじ穴にもシーリングをしてください。
- ⑥取付けねじを手締めにて固定してください。
(同梱のねじが合わない場合は別途現場手配してください。)
- ⑦障子を吊込んでください。



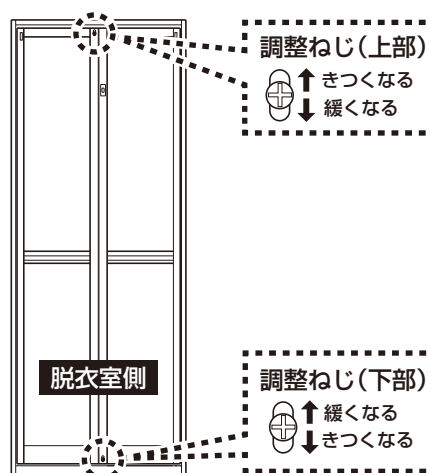
3 把手の取付け

- ①戸先ドア浴室側の縦框中棧部にブラケットを根元にすき間がなくなるまで差込みます。
- ②把手(アルミ型材)を片側に斜めにしてはめ込み、もう片側はブラケットを広げながらはめ込みます。
- ③ブラケットと把手をねじ止めします。



4 既設枠への取付け

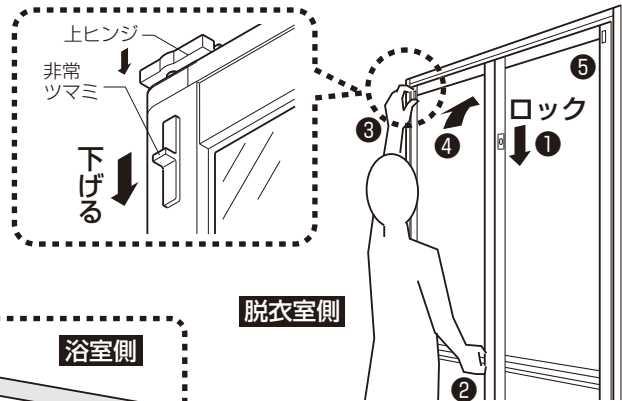
- ドアの開閉を行い、閉まり具合を確認します。
- ※ドアの開閉がきつい、または緩すぎるときは右図のラッチ調整ねじ(上部・下部)を調整してください。



■ドアの取外し方

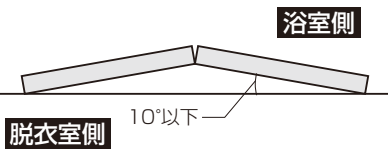
■ドアの取外し方

- ①ロックを解錠します。
- ②把手を握ります。(ドアが外れるまで離さないでください。)
- ③左上の非常ツマミを下げます。
- ④ドアを押して上枠レールから上ヒンジを外します。
- ⑤右側も同じ順序で外してください。
- ⑥ドアを持ち上げて枠から取外してください。



お願い

- 下ヒンジにはドアをせり上げる機構を採用しているため、完全な開状態ではドアを外せません。ドアを約 10°以下に閉じた状態で外してください。

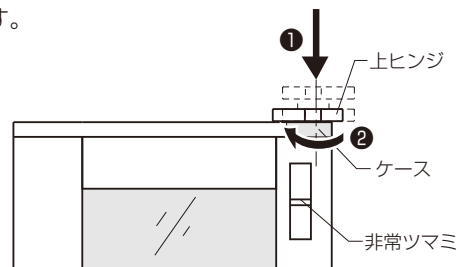


■ドアの吊込み方

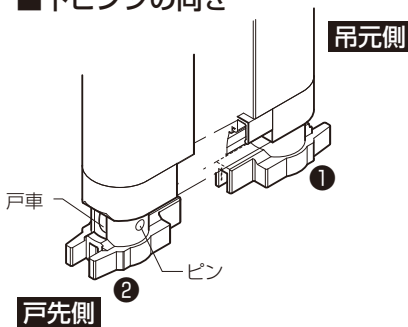
- ①下ヒンジの吊元側を下図の向きにして、レール端部の切欠きにはめ込みます。
- ②下ヒンジの戸先側を下図の向きにして、レールにはめ込みます。
- ③上ヒンジの向きは左右とも長い方が、両方内向きになるよう回転してください。(下図参照)
- ④上ヒンジの吊元側の非常ツマミを下げてレール端部の切欠きにはめ込みます。
- ⑤ドアを 10°以下に閉じた状態で上ヒンジの戸先側をレールにはめ込みます。

【非常ツマミで上ヒンジが操作できない場合の対処方法】

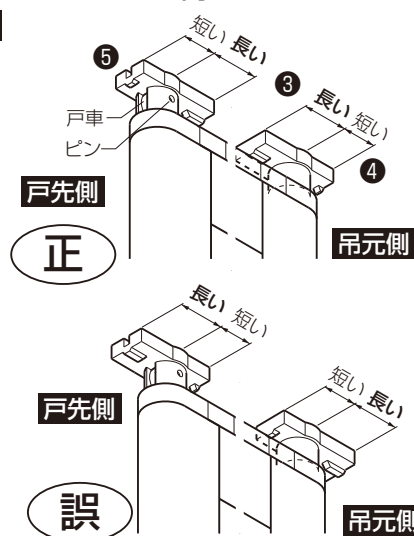
- ①上ヒンジの向きを (正) の状態にし、ケースに当たるまで押し込みます。
 - ②押し込んだ状態で上ヒンジを 180°回転 (誤) の状態させます。
- ※①、②の操作で、非常ツマミで上ヒンジの操作ができるようになります。



■下ヒンジの向き



■上ヒンジの向き

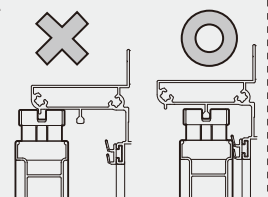


お願い

- ドアを枠に吊込む際は、必ず上ヒンジの長い方が両方内向きになっていることを確認してから吊込んでください。
- ※非常ツマミで上ヒンジが操作できない状態で無理にドアを吊込むと外せなくなります。

▲注意

- 上ヒンジは必ず上枠レールにはめ込んでください。ドア脱落の原因となります。



■ドアの吊元交換

- 商品出荷時の吊元は、浴室側から見て右吊元でセットされています。
左吊元で使用される場合は、下記作業が必要です。

1 ドアの外し

※ドアの外し方に従い取外してください。

2 下ヒンジの吊元交換

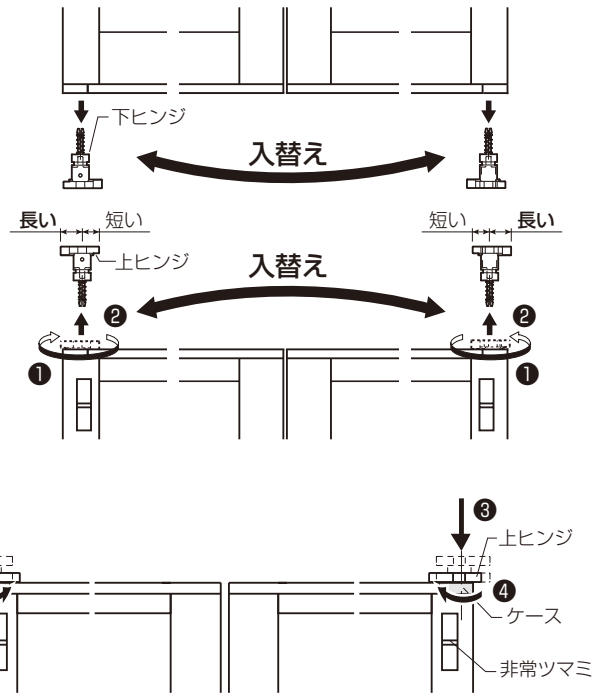
- 下ヒンジの吊元側と戸先側を引抜き、逆に入替えます。
- ※戸先側には戸車が内蔵されています。

3 上ヒンジの吊元交換

- ①上ヒンジの向きを、長い方が外向きになるように回転します。
※非常ツマミで上ヒンジを操作できない事を確認してください。
- ②上ヒンジの吊元側と戸先側を引抜き、逆に入替えます。
※戸先側には戸車が内蔵されています。
- ③上ヒンジの向きを長い方が外向きの状態にし、ケースに
当るまで押込みます。
- ④押込んだ状態で上ヒンジを
180°回転(長い方が内向きの状態)させます。

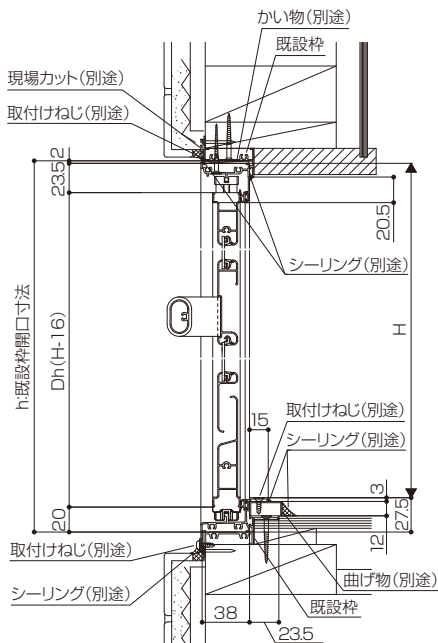
4 ドアを吊込み

※ドアの吊込み方に従い吊込んでください。



■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

